#### 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170100861			
法人名	有限会社ラ・ヴィ			
事業所名	グループホーム ソレイユ 2階			
所在地	札幌市中央区南7条西11丁目1-1			
自己評価作成日	令和6年 3月6日	評価結果市町村受理日	令和6年 3月27日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

62 り、安心して暮らせている

(参考項目:28)

	評価機関名	株式会社 サンシャイン
	所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調查日 令和6年3月19日		令和6年3月19日

2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームでは、入居者様たちが季節を感じ取れる生活空間で、生き生きとした表情で自分らしく穏 やかな日常生活を送って頂けるよう、クッキングレクや制作レク、塗り絵や体操、ゲーム、キャップパ ズル等、さまざまなレクを提供しています。

入居者様は気さくにスタッフに話しかけ、しっかりとした信頼関係のもとスタッフはユニットケアに努 めています。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

札幌市中心部の交通量の多い国道沿いに位置する3ユニットのグループホームである。地下鉄駅から徒歩7分ほど でバス停やコンビニエンスストアが近く利便性が高い。建物は5階建てで、1階は母体の医院の他に大きなデイルー ムがあり、2~4階が当グループホームとなっている。介護付き有料老人ホームも併設されている。医療面で母体医 院による往診体制が整い、看護師や管理栄養士の目も行き届き、利用者や家族の安心につながっている。職員教育 の面は、年間を通して計画的な内部研修を行っている、また「業務提案書」という書式を使って職員が個別に意見を 提出でき、サービスの改善につなげている。家族や友人の面会も多く、家族とのやり取りを適切に記録している。ま た、毎月「ソレイユ通信」と個別の写真を家族に提供している。ケアマネジメントの面では、利用者ごとの生活歴シート に生活歴や暮らし方の希望を記載して日々の支援に活かしている。介護計画の見直しに関するモニタリング表などの 書類、日々の記録も見やすく作成されている。感染症の流行により日常的な外出や行事による外出が難しいが、1階 |の広いデイルームを活用してリハビリテーションや遊び、お茶会などを行い、運動機能の維持につなげている。快適 な環境と充実した支援体制のもと、楽しく安全に生活できるグループホームである。

٧.	Ⅴ. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します					
	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		! り 組 み の 成 果 ものに○印
50	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	O 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることを はく聴いており、信頼関係ができている	0	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと
36	(参考項目:23,24,25)	3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	03	(参考項目:9,10,19)		3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	O 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある		通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪	0	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度
57	(参考項目:18,38)	3. たまにある 4. ほとんどない	64	ねて来ている  (参考項目:2,20)		3. たまに 4. ほとんどない
	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	O 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが	<b> </b>	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつなが りが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えてい	0	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている
58	(参考項目:38)	3. 利用者の1/3/らいが 4. ほとんどいない	65	る (参考項目:4)		3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	O 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが	66	、職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	0	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		(参考項目:11,12)		3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が ○ 2. 利用者の2/3くらいが □ コロナの為外出自粛 □ 1. はば全ての利用者が □ コロナの為外出自粛	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると 7 周う	0	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが
	(参有項曰:49)	3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	O 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足し 3 ていると思う	0	<ol> <li>ほぼ全ての家族等が</li> <li>家族等の2/3くらいが</li> </ol>
	(参考項目:30,31)	3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援によ	O 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが			•	

(別紙4−1)

# 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価(2階)	外部評価(国	事業所全体)
一個	評価	i	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ι.	理念	に基づく運営			
1		をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践 につなげている	①「家族になろう」を理念を目標として全ての行動において意識をし行動することに努めています。 ②地域からの協力・支援を理念の2本目の柱とした。	理念の中心に「家族になろう」という文言を掲げ、もう一つの項目に地域との関わりの文言を入れている。理念を各ユニットに掲示し、職員は普段の業務の中で理念を振り返っている。	
2	2	う、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎日のレクリエーションを通じて、近所の人たちとのコミュニケーションが出来るように努めております。	感染症の流行により住民との活発な交流は行えていないが、散歩の際に挨拶を交わすなどの交流がある。運営推進会議では町内会長から情報提供を 受けている。感染症が収束したら以前のような交流 を再開したいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人 の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活か している	施設は、ホームページにて情報を発信し、相談などは窓口、ホームページ上から受け付けており、地域 貢献に活かされております。		
4		○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価 への取り組み状況等について報告や話し合いを行 い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ケ月に1回、施設の代表。家族、町内会長たちが 出席し開催しています。提供しているサービスや行 事の実施を報告し、意見をいただき、サービスの向 上に活かしています。	会議を2か月ごとに開催し、地域包括支援センター 職員、町内会長、複数の家族の参加を得ている。 討議内容を毎月の通信の中で家族に報告してい る。運営報告以外のテーマを設けているが、ここ半 年ほどはテーマを設定できていない。	年間を通して計画的にテーマを設定し、テーマに関する簡単な資料も用意して意見交換することを期待したい。他のテーマとして例えば「介護保険制度(変更点)」「感染対策」「外部評価」「身体拘束廃止」などが考えられる。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の 実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えなが ら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を実施し、情報交換に努めております。	運営推進会議に地域包括支援センター職員の参加 があり情報提供を得ている。生活保護課との相談も 随時行っている。最近では感染対策として市から補 助を得て事業所に陰圧室を作った。	
6		〇身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に委員会を開き、身体拘束が必要と思われる背景や要因について話し合い、ケア方法の改善 や環境の整備について話し合っています。	同意を得てやむを得ず身体拘束を行う場合があり、 改善に向けて毎月身体拘束廃止に関する委員会を 開催している。身体拘束に関する研修を年2回以上 行うとともに、具体的な禁止行為を掲示し共有して いる。前面道路の交通量が多いこともあり玄関を施 錠しているが、利用者の外出希望を察知した場合 は同行するようにしている。	
7		〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学 ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待 が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努 めている	研修会を通して、虐待について学び理解し、職員一 人一人が正しい自覚をもって、日々温かい介護に 努めています。		

	_	グルーノホーム グレイユ			
É	自   外		自己評価(2階)	外部評価(事	事業所全体) -
记	計   計		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8	:	○権利擁護に関する制度の理解と活用			
		管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後 見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関 係者と話し合い、それらを活用できるよう支援してい る	研修などで学び、理解して活用できるように努めて おります。		
9	1	√○契約に関する説明と納得			
		契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や 家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い 理解・納得を図っている	契約・退去時には十分は説明を行い、疑問点に答 え納得していただいております。		
1	0 6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映		運営推進会議の他、家族の来訪時や電話を掛けた	
		させている	①意見、要望を発信しやすい関係、環境作りに努めている。 ②面会時等などにも意見、要望を聞いている。相談窓口等の告知も行っている。	際に意見を聞いている。意見は「面会時及び電話等の報告」や「家族ノート」に記載し共有している。毎月「ソレイユ通信」や利用者の写真を家族に送付している。	
1	1 7	〇運営に関する職員意見の反映		定期的なリーダー会議で活発に意見交換している。	
		代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提 案を聞く機会を設け、反映させている	施設内で行われるリーダー会議等で常に意見を聞き、反映されております。		
1	2	○就業環境の整備			
,		状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、 各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の 整備に努めている	個別面談を行い、職員の要望・職務状況を把握し、 より良く入居者が生活できるよう、職員が実践して いくことができる環境を整えている。		
1	3	○職員を育てる取り組み			
		カ量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保 や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内外の研修を受ける機会に恵まれ、職員は 徐々にレベルアップしております。		
1	4	〇同業者との交流を通じた向上			
		代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ過の為ZOOMを使ってオンライン研修会など を行っている。		

		グループホーム ソレイユ			
自己評価	外部	項目	自己評価(2階)	外部評価(事	\$業所全体) 
評価	評価	1	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
П.		と信頼に向けた関係づくりと支援			
15	/	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	基本情報や入居者様ご本人との会話を通して寄り添い、思いを汲み取り、早急に対処できるよう努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困って いること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関 係づくりに努めている	入居者様を通し、また面会時にもご家族様のお話 をよく聞き、安心して頂けるような関係を築けるよう に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他の サービス利用も含めた対応に努めている	常に入居者様の立場に立ったサービスができるよう、ご家族様ともしっかりお話をさせて頂き、対応させて頂いています。		
18		〇本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様を第一に考え、フロアのスタッフと管理者でユニット会議を行い、問題点について話し合い、対策を練り、実行し、安心して過ごして頂けるよう努めています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本 人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えて いく関係を築いている	コロナのため面会等が難しく、近況報告に写真を載せて郵送している。また、状態の変化があった際はこまめに電話連絡をし、情報を共有している。		
20		の関係が途切れないよう、支援に努めている		事業所が札幌中心部にあり、多くの利用者に知人 や友人が来訪している。友人からの電話を取り次い だり、手紙の返事作成や投函を職員が手伝うことも ある。感染症が落ち着いたら利用者の馴染みの場 所への外出を再開したいと考えている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず に利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援 に努めている	入居者間の関係が穏やかであるようにスタッフも関わり合いながら、一人一人が楽しく生き生きと生活できる関係を保てるように努めています。		

		グループホーム ソレイユ				
自己評価	3   外		自己評価(2階)	外部評価(項	<b>事業所全体</b> )	
評価	評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係 性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経 過をフォローし、相談や支援に努めている	退去時も相談し合い、入居者様ご家族様に納得して頂ける様心がけ、退去後も相談して頂けるような関係を築くように努めております。			
ш	Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に 努めている。困難な場合は、本人本位に検討してい る	入居者様の要望や思いを知ることができるよう、温 かいコミュニケーションを心掛け、対応できるよう努 めています。	半分以上の利用者が言葉で思いや意向を表出でき、難しい方も表情や問いかけの反応から把握している。個々の生活歴シートを作成し、その中で生活歴や趣味嗜好等の情報を追記・更新している。		
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努め ている	入居者様からはもちろん、ご家族様からも情報をい ただけるようコミュニケーションを図っています。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力 等の現状の把握に努めている	日々、入居者様の様子はよく観察し、職員で話し合 い共有できるよう努めています。			
26	10	ついて、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それ ぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介 護計画を作成している		介護計画を3か月ごとに見直し作成している。担当者によるモニタリング結果をもとに会議で評価を行い、次の計画を作成している。日々の記録は介護目標の番号も明記しながら支援内容や利用者の様子などを記載している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個 別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践 や介護計画の見直しに活かしている	申し送りノートやケース記録を通して情報を共有し、 ケアプランに基づいたより良いケアができるように 努めています。			
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに 対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支 援やサービスの多機能化に取り組んでいる	対応方法を全スタッフで話し合い、実践・評価を繰り 返しながら適切な対応を探求しております。			
29		〇地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、 本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らし を楽しむことができるよう支援している	①ゴミになる新聞紙の再利用 ②訪問理美容の協力を受けている。			
30	11	〇かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が 得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きなが ら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者の状態を家族と話し合い、希望する医療機 関を受診できるようにしている	利用者全員が母体病院による週1回の往診を受けている。他科目の通院は家族または事業所が送迎している。受診内容を往診分は「回診ノート」、通院分は「受診報告書」に記載し共有している。		

自己	外部評価	リン・ファース フレイユー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	自己評価(2階)	外部評価(国	\$業所全体) 
評価	評価	% п	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気 づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝え て相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受 けられるように支援している	常に看護師と連携をとり、相談し報告して適切な指示を受けて素早く対応しております。		
32	1 /	〇入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院先の医療機関に情報提供し、安心して治療し、 早期に退院できるよう協力しています。		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段 階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ででき ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関 係者と共にチームで支援に取り組んでいる		利用者が重度化した場合は事業所のできる範囲で 支援したのち、終末期は医療設備の整った医療機 関に移ることを利用者や家族に説明し理解を得て いる。重度化した際は家族と意思確認を行い、詳し い記録を残している。	
34		〇急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員 は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実 践力を身に付けている	急変時や事故発生時のマニュアルがあり、看護師 に早急な報告、指示を仰ぎ、適切な対処を全ての 職員ができるように取り組んでおります。		
35		〇災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利 用者が避難できる方法を全職員が身につけるととも に、地域との協力体制を築いている	災害に関しては、毎年防火訓練や避難訓練を行っています。業者の方を招いて説明を受け、身につけています。	年2回、昼夜を想定した避難訓練を行い、防災設備会社の指導や町内会関係者の参加を得ている。地震等の対応を研修の中で話し合っている。職員は現状、外部の救急救命訓練を受けられていないが、内部研修でできる範囲を学ぶ予定である。	
	-	)人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36		〇一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損 ねない言葉かけや対応をしている	①人格を尊重した名前の呼び方「〇〇さん」など ②プライバシーに配慮した声掛けや対応をしております。	接遇研修を年間を通し計画的に実施し、人格やプライバシーに配慮し適切な声かけに努めている。	
37		〇利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己 決定できるように働きかけている	日頃から入居者様の言葉や態度に気を留め、尊重 し、入居者様が気軽に希望を表現できるよう努めて います。		
38		ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ご したいか、希望にそって支援している	利用者様に寄りそい、一人一人のペースに合わせ、希望に沿って支援できるよう努めています。		
39	/	〇身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支 援している	毎朝モーニングケアを通して身だしなみを整えて、 また、ご本人様の望むおしゃれもコミュニケーション を通して知ることができるよう努めています。		

自己	外部評価	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	自己評価(2階)	外部評価(国	<b>事業所全体</b> )
評価	評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40		〇食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや 力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食 事、片付けをしている	ご本人様の希望や能力に応じ、楽しくおやつ作りを したり、テーブルを拭いていただいたり、メニューも 共有し食事を楽しめるよう工夫をしている。	管理栄養士が献立を作成し、調理専門職員が厨房で主菜、副菜を調理している。各ユニットでは主食、 汁物を作っている。おやつや果物の差入も楽しみになっている。	
41		〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確 保できるよう、一人ひとりの状態やカ、習慣に応じた 支援をしている	管理栄養士作成メニューにより、バランスの良い食事を提供し、水分も必要量を摂取していただけるよう努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人 ひとりの口腔状態や本人のカに応じた口腔ケアをし ている	訪問歯科受診希望者は、定期口腔ケアや歯科治療を行っている。毎食後の口腔ケアも職員が見守り、必要な場合は介助をしている。		
43		カや排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている		日中は羞恥心に配慮し、事前誘導にてトイレでの排 泄を支援している。下肢体操を積極的に行い、日常 生活の機能維持に努めている。	
44		70 0 0	必要な水分摂取をしていただけるように声掛けを し、レクや体操を通して体を動かし、予防に取り組 んでいる。		
45		しまわずに、個々にそった支援をしている	本人に確認しながら入浴を行っている。室温や水温 も入居者様の希望に応じて設定し、職員と会話しな がら入浴を楽しんでいただいている。	ひとり週2回の入浴を基本としている。本人の習慣を取り入れ、湯は毎回入れ替えている。同性介助を行い、入浴剤を利用し、香りや職員との会話も楽しんでいる。	
46	/		個々の希望に応じて居室で休んでいただいたり、フロアで談笑されたり、みんなで体操することで充実した生活を送ることにより夜間の安眠につなげている。		
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法 や用量について理解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている			
48			職員との会話を通して、入居者様の希望や楽しみ を知り、生活に取り入れて支援をしている。		

自己	9		自己評価(2階)	外部評価(事	事業所 <b>全体</b> )
評価	評価	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49		〇日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナの為、全員での外出は自粛していますが、 個々で必要な買い物やご家族様の希望に応じて外 出支援を行っております。	感染症流行のため、積極的な外出は控えているが、1階のデイルームで様々なレクリエーションや個別機能訓練を取り入れ、気分転換を図っている。 屋外でアイスを食べるなど工夫している。	
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解して おり、一人ひとりの希望やカに応じて、お金を所持し たり使えるように支援している	金銭管理が可能でない方は、施設の管理となっていますが、必要時に買い物代行支援を行っております。		
51		〇電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙の やり取りができるように支援をしている	ご家族様や入居者様の希望に応じていつでもやり 取りが出来るように支援を行っております。		
52	19	〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、 トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくよう な刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配 慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ご せるような工夫をしている	lるよっ気を配り、生活空間の飾りつけも季節に応	共用空間は大きな窓から光が差し込み、温湿度も空調、暖房等により快適に過ごせるようにしている。壁には趣がある工夫を凝らした季節装飾、行事や利用者の写真、作品も掲示されている。	
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用 者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫を している	フロア内は憩いの場となるよう食席を設置し、ソ ファー席も設けて、思い思いに読書をしたり、テレビ 鑑賞ができるような空間作りをしています。		
54	20	〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、 本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様や入居者様の希望に応じ、慣れ親しんだ 空間となる様に家具を設置したり、装飾をしています。	介護用ベッドや整理タンス、防炎カーテンが備え付けられ、テレビや家族写真、遺影、人形、趣味の絵画、作品、ポスターなど自身の部屋として安心して過ごせるようにしている。	
55		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	自室の出入り口には、入居者様ご本人の写真と名前を飾り、入室しやすいように工夫し、廊下には手すりを設置し、自力歩行中も職員で見守りを行えるよう工夫しています。		

#### 自己評価及び外部評価結果

事業所番号	0170100861			
法人名	有限会社ラ・ヴィ			
事業所名	グループホーム ソレイユ 3階			
所在地	札幌市中央区南7条西11丁目1-1			
自己評価作成日	令和6年3月5日	評価結果市町村受理日	令和6年 3月27日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL https://www.bing.com/search?g=%E3%82%A2%E3%83%9E%E3%82%BE%E3%83%B8&cvid=645c08d76c2446b09318baf51a6d6859&acs=edge 4.69644508 . 8.32544540445ORM=ANAB018PC=EDGEDB

【評価機関概要(評価機関記入)】

利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援によ

62 り、安心して暮らせている

(参考項目:28)

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和6年3月19日

2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームでは、レクリエーションに力を入れております。毎月必ず行われているレクリエーション(お食事会、季節を感じて頂ける四季折々のレクリエーション)の他に外部の方の協力により、音楽療法等。また、それとは別に週に6回のペースで、全入居者様を対象にリハビリテーションを交えたレクリエーション(口腔内体操、健康体操、近隣公園での運動)などを実施しております。残存機能の保持・向上を全館挙げての目標として掲げ、日々業務にあたっております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

٧.	サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目	目Na.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果に	こついて自己評	価します		
	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		x り組みの成果 5ものに〇印
		○ 1. ほぼ全ての利用者の		<b>一時日は、京大が日・インフェル・エウかこし、ナルインフェルナ</b>	0	1. ほぼ全ての家族と
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	2. 利用者の2/3くらいの	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることを よく聴いており、信頼関係ができている		2. 家族の2/3くらいと
30	(参考項目:23,24,25)	3. 利用者の1/3くらいの	03	(参考項目:9,10,19)		3. 家族の1/3くらいと
		4. ほとんど掴んでいない		(多行英日:0,10,10)		4. ほとんどできていない
		O 1. 毎日ある		71.0845	0	1. ほぼ毎日のように
_	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	2. 数日に1回程度ある	6.4	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪 ねて来ている		2. 数日に1回程度
/	(参考項目:18,38)	3. たまにある	04	(参考項目:2,20)		3. たまに
		4. ほとんどない		(9·5·4)		4. ほとんどない
		○ 1. ほぼ全ての利用者が		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	0	1. 大いに増えている
_	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	2. 利用者の2/3くらいが	65			2. 少しずつ増えている
ŏ		3. 利用者の1/3くらいが	65			3. あまり増えていない
		4. ほとんどいない				4. 全くいない
		○ 1. ほぼ全ての利用者が		職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	0	1. ほぼ全ての職員が
_	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみ	2. 利用者の2/3くらいが	66			2. 職員の2/3くらいが
9	られている (参考項目:36,37)	3. 利用者の1/3くらいが	00			3. 職員の1/3くらいが
	(参考項日:30,37)	4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
		O 1. ほぼ全ての利用者が		M-2/2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-2-	0	1. ほぼ全ての利用者が
_	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	2. 利用者の2/3くらいが	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると		2. 利用者の2/3くらいが
U	(参考項目:49)	3. 利用者の1/3くらいが	67	思う		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
		O 1. ほぼ全ての利用者が			0	1. ほぼ全ての家族等が
4	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせてい	2. 利用者の2/3くらいが		職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足し		2. 家族等の2/3くらいが
1	る (参考項目:30,31)	3. 利用者の1/3くらいが	68	68 ていると思う		3. 家族等の1/3くらいが
	(奓有項日:30,31)	4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
_		O 1. ほぼ全ての利用者が				
	利用老は その時々の伴泊め両切に広じた矛軸が支撑によ					

(別紙4−1)

# 自己評価及び外部評価結果

	_		I		
自己	外部評価	項目	自己評価(3階)	外部評価(	事業所全体) 
一個	一価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ι.	理念	<u>.</u> :に基づく運営			
1	•	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念 をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践 につなげている	①当ホームでは、理念の柱として「家族」という言葉を入れている。「家族」こそが生活の基本と考えて、地域生活での中核であり、最小単位として捉えているからである。 ②当ホームへの地域の理解と、友好的な関係、その関係の持続性、地域からの協力・支援を理念の2本目の柱とした。		
2		〇事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩・買い物を通して近所の人たちとコミュニケーションをとっていた。近所の喫茶店にも月2回コーヒーとケーキを楽しみに通っていた。今はコロナの影響で不可能になっている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人 の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活か している	施設のホームページにて情報を発信、相談などは窓口・ホームページ上からも受け付けており、地域 貢献に活かされている。 現在ホームページの更新に手をつけているところ。		
4		○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	①2ヶ月に1回、施設の管理者・家族・町内会長たちが出席し、開催。意見をサービスに反映させている。		
5		○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の 実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えなが ら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を実施し、情報提供に努めている。 運営上疑問点がある時は市町村の担当の人にアド パイスを頂いている。		
6		〇身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者様の身体面、精神面の状態の観察を行い、 早期発見に努めている。不適切な介護になってい ないか会議などで話し合いをしている		
7	$\left  \right $	〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学 ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待 が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努 めている	施設内・外での研修会で職員は虐待について学 び、理解をして虐待防止に努めている。		

		クルーフホーム ソレイユ			
自己	外部評価	項目	自己評価(3階)	外部評価(『	事業所全体)
評価	評価	7	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後 見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関 係者と話し合い、それらを活用できるよう支援してい る	①研修などで学び、理解して活用できるように努めている。 ②実際に、成年後見制度も活用されている利用者様もいらっしゃる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や 家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い 理解・納得を図っている	①契約・解約・改定等の際には相談担当者が口頭・ 書面で説明している。 ②チェックシートを作り、説明漏れがないようにして いる。		
10		に外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映 させている	①運営推進会議の活用 ②家族が話された事・希望されている事を面会報 告票に毎日記入して管理者、職員が把握できるようにしている。又、それに対して返答もしている。 ③課題発生時には職員全員で具体策を話し合い家族と担当者会議で話し合う。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提 案を聞く機会を設け、反映させている	「朝ミーティング」や「管理者と職員の個人面談」、「業務提案制度」を設け、常に意見や提案を聞き、 有効だと認められるものは取り入れている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務 状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、 各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の 整備に努めている	①昇格、昇給、手当等の支給 ②キャリアパス ③勿論、降格、減給もある ④休憩室の設置		
13		〇職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と 力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保 や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	①毎月の内部研修 ②外部研修を受講した職員はその後、内部の研修 で内容を報告している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会 を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の 活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組 みをしている	①施設外の講演会への出席 ②外部から講師を招いての研修を行っていた。 ③中央区のスタッフ研修会へ参加し課題発表も 行っていた。 今は、コロナの影響で不可能になっている。		

	クルーフホーム ソレイユ				
自己	外部評価	項目	自己評価(3階)	外部評価(事	事業所全体) 
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	評価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
П.	安心	>と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		〇初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	必ず入居前に面談をし、本人との会話を多く持ちながら、気兼ねなく本音を話せるような雰囲気を作っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困って いること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関 係づくりに努めている	必ず入居前に数回面談をして家族が気兼ねなく本音を話せるように、ゆったりとした対応で親身に話を聴く雰囲気を作っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他の サービス利用も含めた対応に努めている	当ホームの場合、病院のMSWからの紹介が主である。初期段階で、まずMSW・ケアマネ・看護師を交えながらの会議で、必要とされる支援がかなり絞り込まれる。そこでフォーマルなサービス、インフォーマルなサービスを提案しながら進めていく。		
18	I /	〇本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	①スタッフが何でもやってしまう事が無いように、本人のできる事を見つけてお願いしている。 ②今までの生活歴を重視。 ③本人と同じ目線で接していく。 ④昔の話を聞いて職員が感動する場面が生活の中で沢山ある。特に感受性の豊かな職員にとっては、学ぶチャンスにもなっている。		
19		〇本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本 人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えて いく関係を築いている	①何でも家族に相談するを忘れない。 ②契約時に「本人」と「家族」と「職員」が力を合わせて、初めて介護が成り立つという事を必ず説明している。 ③但し、一部の家族は「入居させっ放し」という家族があるのも事実。 ④コロナ過でも家族と会える様にアクリル板越しにて面会を実施しています。		
20		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所と の関係が途切れないよう、支援に努めている	①友人、親戚、元恋人、元妻等の訪問、手紙のやりとりを手伝っている。本人から出向くこともあった。 (勿論、本人の意思で) 今は、コロナの影響で不可能になっている。		
21	I /	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず に利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援 に努めている	①利用者同士がコミュニケーションをとれる行事や レクリエーションを考案。 ②リビングではソファやイスのレイアウトを配慮す る。		

		グループホーム ソレイユ				
自己	外部評価	外 部 項 目	自己評価(3階)	外部評価(事	事業所全体)	
一個	評価	^ -	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係 性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経 過をフォローし、相談や支援に努めている	①退居後、他の病院に入院後も面会に行っていた。 ②退居後、家族の経営しているお店を利用していた。 ③家族が所属しているサークル主催のコンサートへの出席を行っていた。			
Ш.	I. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23		<b></b>	①一人一人の言動、行動、表情に注意を向けサインを見逃さないように ②本人の好むこと、喜ぶことを見つけるための時間を大切にしている。			
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	せて頂いている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力 等の現状の把握に努めている	<ul><li>①一日の過ごし方</li><li>→ケース記録、</li><li>②心身状態</li><li>→温度板、処置板、IN・OUT表</li><li>③有する力等の現状</li><li>→リハビリ表</li></ul>			
26	10	〇チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方に ついて、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それ ぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介 護計画を作成している	①入居前より医療関係者やケアマネから情報収集 → ②暫定ケアプラン作成 →③生い立ちから現在 までの生きざまをリサーチ→ ④本人・家族・医師・ 看護師と話し合い→ ⑤ケアプラン作成			
27	$\perp$	〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個 別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践 や介護計画の見直しに活かしている	①日々は個人記録→②1回/3ヵ月 モニタリング→ ③計画作成			
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族関係、友人関係等、本人をとりまく人間模様や 環境、背景、そしてそれらの変化に対しても対応す る様にしている。			
29		〇地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、 本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らし を楽しむことができるよう支援している	③趣味・レク-文化教育機関、ボランティアの協力を 受けている。			
30	11	〇かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が 得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きなが ら、適切な医療を受けられるように支援している	当ホームではインシュリン、ストマ、バルーンカテーテル、胃ろう等医療的ニーズの高い方が多く入居されている為、併設の診療所の医師、看護師と連携している他、更に地域の病院、他科の後方支援も受けている。			

自己	外部評価	ダルーノホーム グレイユ	自己評価(3階)	外部評価(事	<b>事業所全体</b> )
評価	評価	<b>垻</b> 日	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		〇看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気 づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝え て相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受 けられるように支援している	常に看護師と連携を取り、相談し、報告をして、適 切な指示を受けて対応している。		
32		た、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者 との情報交換や相談に努めている。又は、そうした 場合に備えて病院関係者との関係づくりを行ってい る			
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段 階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ででき ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関 係者と共にチームで支援に取り組んでいる	②①の方針で医・看・介護計画を立てる		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員 は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実 践力を身に付けている	急変や事故発生時のマニュアルがあり、研修会や ミーティングなど日頃から実践力を身に付けてい る。		
35		〇災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利 用者が避難できる方法を全職員が身につけるととも に、地域との協力体制を築いている	火災に関しては、毎年防災訓練や避難訓練を行っている。消防署の方を招いて説明を受け、身に付けている。		
	-	D人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36		〇一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損 ねない言葉かけや対応をしている	①名前の呼び方に気を付けている。「〇〇さん」 ②過去の職業や身内関係に触れて欲しくない利用 者には踏み込まない。 ③個人情報はキャビネットに鍵をかけて保管 ④スタッフは入社時に秘密保持の誓約書を提出し ている。		
37	/	〇利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己 決定できるように働きかけている	①筆談、ジェスチャー、絵文字などを用いる。 ②本人の意思で選べるようにする(例:セーターを 着る時、何枚か選べるようにする)		
38		〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人 ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ご したいか、希望にそって支援している	利用者様一人ひとりのペースに合わせ、押し付ける 事なくできるだけ希望に沿って支援している。		
39	/	〇身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支 援している	①日常的には「清潔感」を大切にしている。 ②外出時、受診時には服装に気を配る。 ③女性の場合は、ファッションやメークの話題で花が咲いている。 ④鏡を沢山設置し本人が自ら容姿を確認できるようにしている。		

自己	外部評価	項目	自己評価(3階)	外部評価(事	§業所全体)
評価	評価	У. П	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	事、片付けをしている	利用者様の好みや意見を聞きながら、メニューを作成したり、一緒に調理や片付け・準備などを行っている。		
41		〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確 保できるよう、一人ひとりの状態やカ、習慣に応じた 支援をしている	①食事は主食・副食の摂取量を記録 ②栄養バランスは管理栄養士のアドバイスを受け 献立表で管理 ③水分量はIN・OUT表で摂取量と排泄量をチェック ④カルシウムの補給のため昼食時に利用者様全 員に手作りのミルク ブリンを提供しております。		
42		〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人 ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをし ている	①毎食後や就寝前に利用者様一人ひとりの口腔内 の状態に応じてケアをしている。 ②訪問歯科の受診支援		
43	16	〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの 力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排 泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	利用者様一人ひとりの排泄パターンを把握して、見 守りをしたり、声かけをしたり誘導を行うなどしてい る。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫 や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組 んでいる	①飲食物の工夫(牛乳やヨーグルトの摂取)や体操・散歩などを取組んでいる。 ②IN・OUT表をつけ看護師へ報告 ③看護師が浣腸、摘便の処置も行っている。		
45	17	〇入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽 しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めて しまわずに、個々にそった支援をしている	①できるだけ利用者様の希望や時間帯を合わせて、楽しくゆったりと入浴していただけるよう配慮している。 ②入浴剤で気分を盛り上げる。 ③寝たきり、拘縮の強い人、立位保持の厳しい人は特浴室を利用して頂いている。		
46		〇安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、 休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援して いる	①昼夜逆転しない程度に居室やソファに横になって 頂いている。 ②夜間は音を静かにしたり調光ライトを用い、安眠 できるムード作りをしている。		
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法 や用量について理解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている	①利用者様全員の薬の管理を行い、薬の目的や用法・用量についてはリストを作り理解している。 ②本人が確実に服用するまで見届ける。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人 ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽し みごと、気分転換等の支援をしている	①利用者様の得意としていることを活かして、役割を決めて、お手伝いしていただいている。 ②「自分が必要とされている」と思ってもらえるように支援している。		

自	外	<u> </u>	自己評価(3階)	外部評価(乳	a 業所全体)
己評	外部評価	項 目 _	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	_	〇日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出が出来るように計画的に予定を立てていた。また、事前に連絡をいただき、医師に確認の上(体調など)外出は可能だった。家族と連絡を密に取り合い支援していた。 今は、コロナの影響で不可能になっている。		
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解して おり、一人ひとりの希望やカに応じて、お金を所持し たり使えるように支援している	①金庫にて管理し、状況に応じてその都度必要な金額を本人に渡している。(家族との相談により) ②必ず記録に記載している。		
51		〇電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙の やり取りができるように支援をしている	①電話の必要がある時は、出来る限りの支援を 行っている。 ②手紙は1FにメールBOXを設置している。		
52		〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、 トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくよう な刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配 慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ご せるような工夫をしている	作る等の配慮を行っている。		
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用 者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫を している	①食卓テーブルの配置は入居者様同士の相性などを配慮している。 ②片隅に一人になれたり、気の合う人とお喋りできる空間を作っている。		
54		ながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、 本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の好み、なじみの物でレイアウトできる様に なっている。ぬいぐるみや人形を連れて来ている人 は全入居者で可愛がっている。		
55	. /		①廊下幅は広く車椅子移動も安全 ②トイレ、浴室、廊下の手すり配置 ③ナースコールの設置(各居室、トイレ、浴室内) など安全性重視で自立生活が送れるように工夫 されている。		

#### 自己評価及び外部評価結果

	事業所番号	0170100861			
	法人名	有限会社ラ・ヴィ			
	事業所名	グループホーム ソレイユ 4階			
	所在地	札幌市中央区南7条西11丁目1-1			
ı	自己評価作成日	令和6年3月5日	評価結果市町村受理日	令和6年 3月27日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL https://www.bing.com/search?g=%E3%82%A2%E3%83%9E%E3%82%BE%E3%83%B8&cvid=645c08d76c2446b09318baf51a6d6859&acs=edge 4.69644508 . 8.3254454044FORM=ANAB018PC=EDGEDB

【評価機関概要(評価機関記入)】

利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援によ

62 り、安心して暮らせている

(参考項目:28)

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和6年3月19日

2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員は利用者と同じ目線に立ち、家庭的な雰囲気の中で家族の一員と感じていただけるように接している。

利用者様一人ひとりの人格や生活歴に合わせた会話等、コミュニケーションの時間を大切にすると共に、利用者様のペースに合わせた生活ができるように心がけています。

また、医療機関(主治医や看護師)の指示のもと、利用者様やご家族様との連携を図り、情報の共有にて、安心して生活できる支援をしております

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

℧. サー	. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目10.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します						
	項目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項目	取 り st ↓該当するものに	組 み の 成 果 CO印	
	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ 1. ほぼ全ての利用者の		<b>映号は 実体が困っていてこし エウかこし きゅていてこした</b>	0 1. ほ	ぽ全ての家族と	
56 職員		2. 利用者の2/3くらいの	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることを はく聴いており、信頼関係ができている	2. 家	族の2/3くらいと	
(参	考項目:23,24,25)	3. 利用者の1/3くらいの	0.5	(参考項目:9,10,19)	3. 家	族の1/3くらいと	
		4. ほとんど掴んでいない		(> 1) (X (1 : 0) (10)	4. ほ	とんどできていない	
		O 1. 毎日ある		   通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪		ぼ毎日のように	
57 利用	者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	2. 数日に1回程度ある	6/	週にの場合ケルーノホームに馴染みの人や地域の人々が記    ねて来ている	2. 数	日に1回程度	
(参	考項目:18,38)	3. たまにある	04	(参考項目:2,20)	3. た		
		4. ほとんどない		( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )		とんどない	
	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ 1. ほぼ全ての利用者が		運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつなが りが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えてい	0 1. 大	いに増えている	
50 利用		2. 利用者の2/3くらいが	65		2. 少	しずつ増えている	
(参	考項目:38)	3. 利用者の1/3くらいが	0.5	් <b>ර</b>	3. あ	まり増えていない	
		4. ほとんどいない		(参考項目:4)	4. 全	くいない	
£11 CC	718771 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	○ 1. ほぼ全ての利用者が		職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	0 1. ほ	ぼ全ての職員が	
59 られ	引者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみ でいる	2. 利用者の2/3くらいが	66		2. 職	員の2/3くらいが	
	プロルップ 考項目:36,37)	3. 利用者の1/3くらいが	00	/ (参考項目:11,12)	3. 職	員の1/3くらいが	
(9)	5·英日:00(07)	4. ほとんどいない			4. ほ	とんどいない	
		1. ほぼ全ての利用者が		職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると	0 1. ほ	ぼ全ての利用者が	
60 利用	者は、戸外の行きたいところへ出かけている	〇 2. 利用者の2/3くらいが	コロナの為外出自粛	職員から見て、利用有はサービスにあんじね満足していると   7   思う	2. 利	用者の2/3くらいが	
(参	考項目:49)	3. 利用者の1/3くらいが	07	ر خن ر	3. 利	用者の1/3くらいが	
		4. ほとんどいない			4. ほ	とんどいない	
200	まは 焼肉色畑 5 医療主 カクエネエカもノルデルイン	○ 1. ほぼ全ての利用者が	<u> </u>	<b>映号から見て 利田老の宗状体は共 じっこれれれる洪ロ</b> し	0 1. ほ	ぼ全ての家族等が	
利用61 る	引者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせてい	2. 利用者の2/3くらいが	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足し 3 ていると思う	2. 家	族等の2/3くらいが	
	考項目:30,31)	3. 利用者の1/3くらいが		) (0.0C/m)	3. 家	族等の1/3くらいが	
(9)	-3-XH (00)01/	4. ほとんどいない	<u> </u>		4. ほ	とんどできていない	
	3老は、その時々の出沿め亜切に広じた矛動な支援によ	○ 1. ほぼ全ての利用者が		_	·	_	

(別紙4−1)

# 自己評価及び外部評価結果

自己	外部評価	項目	自己評価(4階)	外部	評価
評価	評価	<b>- 現 口</b>	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ι.3	理念	に基づく運営			
1	1	をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	①「家族」というテーマで理念を掲げ、利用者様との 絆を大切の思いながら、実践・共有しております。 ②地域からの協力・支援を理念の2本目の柱とし た。		
2	2	ている	施設の催し、お祭りに参加して頂き、利用者様との 交流を図ってもらったり、公園への散歩の際、挨拶 を交わしています。		
3		している	運営推進会議を通し、認知症の方の理解を深め、 活動報告を行っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価 への取り組み状況等について報告や話し合いを行 い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度、運営推進会議を開催し、活動報告の他、現状の実態、取り組みについての評価、意見を頂き、サービス向上に活かしています。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の 実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えなが ら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政担当者と運営上で疑問点や相談事が発生した 場合、助言や情報を提供して頂き、サービス向上に 繋げています。		
6	5	ビス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行	①立地環境の問題もあり、安全を重視した施錠設置をしております。 ②内部研修、ミーティングで話し合い職員間で情報を共有している。		
7		〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学 ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待 が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努 めている	外部研修への参加や年間研修会において、高齢者 虐待防止に向けての勉強会を開催しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価(4階)	外部	評価
評価	評価	<b>快 口</b>	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後 見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関 係者と話し合い、それらを活用できるよう支援してい る	内部研修を通じ、成年後見人制度の勉強会を開催 し、実施に成年後見人制度を活用しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や 家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い 理解・納得を図っている	①契約時に重要事項説明書、契約書の内容や制度を説明を行い、料金の説明を行っている。疑問や不安に感じられている事があればお答えしている。 ②解約時、もご理解頂ける様に、説明を心がけている。		
10		○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並び に外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映 させている	①運営推進会議を通じ、御家族様の意見、要望を 頂いております。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提 案を聞く機会を設け、反映させている	①日頃から利用者とコミニケションを図るよう心がけている。 ②代表者は定期的に訪問し、職員と意見交換を行い運営への反映に努めている。		
12		各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場環境の把握、就業規則の再確認等、働きやす く向上心が持続できる様、職員との話し合いの場を 設けております。		
13		〇職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と 力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保 や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	日々の文法のあり万寺についてコミュニケーンヨン		
14		〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会 を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の 活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組 みをしている	①札幌市中央区内の同業者と交流を図り、勉強会を通じ、サービスの向上に努めさせて頂く取り組みを行っております。 ②施設内外研修や勉強会の他法人の研修会に参加している。		

	グループホーム ソレイユ						
自己	外部評価	項 目	自己評価(4階)	外部	評価		
一個	評価	曲	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
Ⅱ.5	安心	と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	①日々の関り合いの中で利用者様の要望や不安を聞き、対応しております。 ②訴えを伝えることの難しい方の場合はメッセージを見逃さない様コミュニケーションを図っております。				
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居申し込み時に要望や意見等を聞き、利用者を 一緒に支える関係を築けるようにコミュニケーション を取り、サービスの向上に努めている。				
17		サービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様、御家族様の意向を伺い、一緒にニーズを含め、課題分析を行うことで、サービス利用に理解を深めて頂き、安心して頂ける様努めております。				
18		〇本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	アセスメントを行い本人と家族等がその時、まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めています。				
19		いく関係を築いている	①ソレイユ通信を月に1回発送し、日常生活の様子や身体状況をお知らせしております。 ②御家族様が来訪された際は近況を直接お知らせしております。				
20		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所と の関係が途切れないよう、支援に努めている	①これまでの関係性を維持し、気軽に面会に来ていただけるような雰囲気作りを心がけている。 ②年賀状のやり取りや手紙のやりとりなども支援している。				
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず に利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援 に努めている	①レクリエーション等の交流を図ることで、馴染みの関係が次第に増え、コミュニケーションの場として活躍しております。 ②機能的に行うことが難しい方でも職員の介入により、参加することで他利用者様との交流を図れる様、支援しております。				

		グルーノホーム ソレイユ			
自己	外部評価	項目	自己評価(4階)	外部	評価
一個	評価	西	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		〇関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係 性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経 過をフォローし、相談や支援に努めている	利用サービス終了後も関係性を大切にし、相談や 支援に応じていきたいと考えております。		
Ш.	その	り人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	•		
23		〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に 努めている。困難な場合は、本人本位に検討してい る	日々のコミュニケーションや様子観察から、希望や 意向はスタッフ間で話し合い、本人が納得できるよ うに検討している。		
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努め ている	事前に情報収集を取らせていただき、生活歴を踏まえた上で、より良い質のサービス提供に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力 等の現状の把握に努めている	日々の生活の中で職員との連携を図り、利用者様 の身体面、精神面に関る状況に気付き、共有して います。		
26		○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方に ついて、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それ ぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介 護計画を作成している	利用者様、御家族様とのサービス提供についての 意見、要望を踏まえた上で介護職員、看護師、ケア マネージャーとの現状に即した介護計画を作成して おります。		
27		〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個 別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践 や介護計画の見直しに活かしている	フロアでの申し送りノート、個別ケース記録を記入 し、ケアプランに添った介護計画を元に情報共有、 見直しに活かしています。		
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	①ご本人様、御家族様の要望に応じた柔軟な対応を心掛け、通院同行、必要物品購入に応じております。 ②訪問理美容などを利用して本人、家族のニーズに対応している。		
29		本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らし を楽しむことができるよう支援している	年間行事の一環としてボランティアによる催しで交 流を行っております。		
30		○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が 得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きなが ら、適切な医療を受けられるように支援している	①協力医療機関により、日常的に健康管理を行っております。 ②また、週一回訪問歯科による診療も行っております。		

		グループホーム ソレイエ			
自己評価	外部評価	項 目	自己評価(4階)	外部	評価
一個	評価	,	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	/	て相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受 けられるように支援している	介護、看護の連携を図り、日常的に心身機能の報告、異常がある場合は医療受診の体制を整えております。		
32		〇入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入退院時には医療機関との情報交換を行い、今後 の医療面に関る相談、助言を病院関係者との間で 交わしております。		
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段 階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ででき ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関 係者と共にチームで支援に取り組んでいる	いて 可能か限り希望に沿ったターミナルケアが支		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員 は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実 践力を身に付けている	日常の身体状況に関る観察に加え、特変に備えて の対応等は研修及びマニュアルに添って的確な判 断の下、行えるよう訓練を行っております。		
35		○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利 用者が避難できる方法を全職員が身につけるととも に、地域との協力体制を築いている	① 年2回の避難訓練を消防署立会いの下行い、 職員の意識向上を図っております。 ②指定緊急避難場所である施設の把握など行って いる。		
		)人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36		ねない言葉かけや対応をしている	職員一人ひとりが利用者の性格だけでなく、表情や 行動から言葉かけのタイミングや言葉を選び敬意を もって対応をしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己 決定できるように働きかけている	日常生活の中で寄り添いの支援を心掛け、ご本人 様の希望や思いを伝えることが出来るよう働きかけ ております。		
38	/	〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人 ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ご したいか、希望にそって支援している	施設内のスケジュールはあるものの、その方らしい 暮らしを尊重し、居心地の良い環境へと支援、見守 り等を行っております。		
39		〇身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支 援している	起床後にもお化粧や服の選択、髪型を整えること ができるよう、利用者様それぞれに合わせて支援を 行っている。		

		グルーノホーム ソレイユ			
自己	外部評価	項 目	自己評価(4階)	外部	評価
一個	西一価		実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	〇食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや 力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食 事、片付けをしている	①食事の盛り付けや彩を工夫し、提供している。 ②食事内容によって、スプーンを使用していただい たり、食器の種類を考慮している。		
41		〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確 保できるよう、一人ひとりの状態やカ、習慣に応じた 支援をしている	管理栄養士による管理指導の下、メニューに沿って の調理、食事摂取表を用いての食事量・水分量を チェックしております。		
42		ている	①毎食後、口腔ケアを実施しております。 ②夜間は義歯を預かり、洗浄剤にて衛生を保って おります。		
43		〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの 力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排 泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄ペースを掴むことにより、失禁回数を減らすことが出来、自立支援の繋がりが出来ております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫 や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組 んでいる	食事量・水分量の摂取状態を把握、チェックを行い、便秘症の方には排便コントロールを行っております。		
45	17	しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めて しまわずに、個々にそった支援をしている	①入浴を楽しんで頂ける様、職員と一緒に歌をうたい、入浴剤等の投入により心身ともにリラックスして頂いております。 ②入浴時間、曜日は事前に本人確認を行っております。		
46		〇安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、 休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援して いる	一人ひとりに合わせた休息時間を設け、体を動かす等の生活習慣を支援することで夜間の良眠へと繋げております。		
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法 や用量について理解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている	①個人ファイルにより、服薬用途が確認できるよう になっております。 ②服薬時のダブルチェックを行い、誤薬防止に努め ております。		
48		〇役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人 ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽し みごと、気分転換等の支援をしている	生活歴を把握することにより、その方らしい生活習慣を見出すことが出来、得意分野を活かし、楽しみの提供に繋がっております。		

	_	<u>グループホーム プレイユ</u>			
自己評価	外部評価	項目	自己評価(4階)	外部	評価
評価	評価	# #	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49		〇日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ過の為外出をするのは、難しいですが、入居 者、家族のご希望を実現できるようにします。		
50	$\perp$	〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解して おり、一人ひとりの希望やカに応じて、お金を所持し たり使えるように支援している	①金銭管理は金庫にて保管し、必要時、買物代行 支援を行っております。		
51		〇電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙の やり取りができるように支援をしている	電話、手紙等の連絡は希望時に支援を行っており ます。		
52		○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、 トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくよう な刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配 慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ご せるような工夫をしている	②生活空間のフロア内の四季彩りの飾りつけを		
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用 者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫を している	フロア内、食席・自席以外に共用ソファーを設置、 憩いの場として馴染みの関係を築いており、静かに 過ごせる空間でもあります。		
54	20	〇居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、 本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	①入所後もご家族様の協力を得ながら、本人希望のテレビやラジオなど準備してもらっている。 ②居室には、家族様の写真や造花を飾り過ごしやすいようにしている。		
55		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	自立支援に基づき、「出来る事」をサポートしております。フロア内は回廊式で手すりを利用して歩行訓練のできる環境にあります。また、居室出入口には個人の写真を掲げ、各場所が分かりやすい様目印等の工夫をしております。		

目標達成計画

事業所名 グループホーム ソレイユ

作 成 日: 令和 6年 3月 26日

市町村受理日: 令和 6年 3月 27日

## 【目標達成計画】

優先順位	項目 番号		目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議にて年間を通して計画的にテーマを設 定して、意見交換する	テーマに関する資料も用意して、町内会、地域包括支援センター、家族様方と意見交換する	テーマとして、「感染対策」、「外部評価」「研修会」「熱中症対策」などを出して行う。	1ヶ月
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。